



発行/小樽市総連合町会 〒047-0008 小樽市築港11番1号 ウイングベイ小樽1番街4階

TEL: 24-1933 FAX: 64-5755 E-mail sourenjo.jm@bz4.plala.or.jp

●4月1日から事務局が移転しました



会長 堀口 雅行

4月1日（火）から総連合町会事務局は、小樽築港のウイングベイ1番街4階に、社会福祉協議会や老人クラブ連合会等とともに移転しました。既に、保健所及びこども家庭センターは昨年12月2日から同4階に移転・開設しております。

◆移転後の住所等

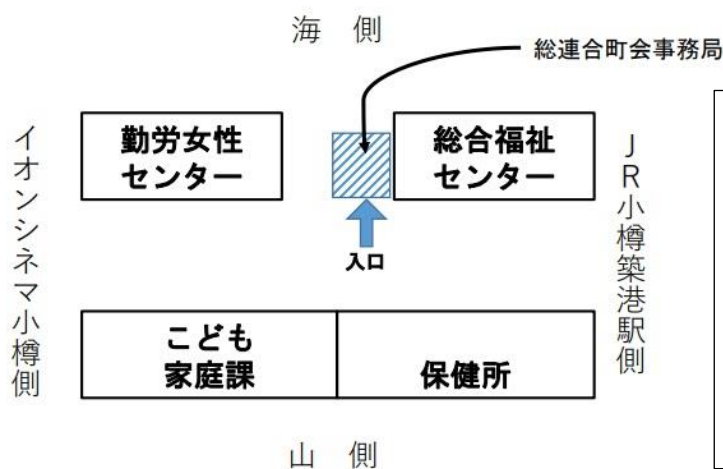
〒047-0008 小樽市築港11番1号 ウイングベイ小樽1番街4階

電話: 24-1933 (変更なし)

FAX: 64-5755 (変更しました)

e-mail: sourenjo.jm@bz04.plala.or.jp (変更なし)

◆具体的な配置等については、広報おたる3月号や市ホームページ[町内会](#) から、またはQRコード ↓ をご覧ください。



◇9時から10時までの来所方法
ウイングベイ小樽は、一部店舗を除き10時開店のため、9時から10時の時間帯にお越しになる場合、以下のとおりご来所ください。
【徒歩・バス・JRでお越しの場合】
ウイングベイ小樽2階 JR小樽築港駅側入り口（歩道橋）から入館し、エレベーターで4階へ
【お車でお越しの場合】
1番街地下駐車場（JR小樽築港駅側駐車場）からエレベーターで4階へ

●認知症対策講座



2月18日（火）に総合福祉センター4階研修室で、総連合町会の専門部会である福祉部会と女性部会の合同で標記研修会を開催しました。演題は、第1部が「あなたにもできる認知症サポーター」で、市福祉保険部福祉総合相談室長谷川氏から、第2部が「認知症の家族が行方不明になった時の対応と普段からできる備え等について」で、小樽警察署生活安全課警部補荒川氏からお話がありました。参加者の皆さんから、「認知症と物忘れの違いを知った。」、「認知症予防のためにも人と会って話をする。」、「今の町内会の活動を続けたい。」等の感想がありました。早く警察に連絡することで、生存率が高まることや、不明男性が奥様との思い出の場所で見つかった例があるなどのお話を興味深く聞いていました。

●令和6年度小樽市コミュニティリーダー養成研修会



1月30日（木）午後1：30から標記研修会を消防庁舎6階講堂で開催しました。テーマは、「冬の北海道で災害が起こったら・・・（災害・防災の概要）」について、市総務部災害対策室安藤主幹から、次に、「避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）」について、渡島総合振興局地域創生部危機対策室橋本危機対策推進幹から、Doはぐの概要と7グループに分けて、実戦災害さながらの避難所の受け入れ体制等について学びました。参加者は、避難してきた



人が車で避難所に来たときは、どこに駐車をさせるのか、また、避難所内を、単独、親子、高齢者同伴など様々なケースに対して、どのように避難所スペースを区割りするのか、簡易トイレの設置場所はどこにするかなど、次々とその対応に迫られることで、避難所運営の課題を認識する内容に真剣に取り組んでいました。

●令和6年度「除雪に関する意見交換会」



2月14日（金）、午前10：30から市役所別館3階の第1委員会室で、標記の会議が開催されました。除雪対策本部長 上石副市長から挨拶の後、担当課長から近年の小樽市の降雪量や除雪費の推移のほか、除排雪計画の主な変更点や小樽市が抱える課題と今年度の対応などについて説明がありました。その後、参加町会から幹線道路やバス通りを優先した作業を行うべきとの意見や、交差点の雪山高さの低減に関する要望など、除排雪に関する活発な意見交換がありました。

●小樽市自主防災組織結成団体等との意見交換会



2月20日（木）に、市消防庁舎6階講堂で、標記の意見交換会が開催されました。各地で頻発化・激甚化する各種災害に対する共助の役割として、地域に根差した自主防災組織結成団体等の協力が不可欠ことから、市では、地域自主防災組織を結成している町会と総連合町会役員等が集まり、定期的に、防災等に関する情報の共有とともに、各団体の実情や要望等を聴く場として昨年度から設けられました。今回は、防災に関する支援内容（全国自主防災組織リーダー研修会、コミュニティ助成事業等）や、

ソフトバンク社が自主防災組織を対象に無料で提供する「防災スマホセミナー」の紹介のほか、防災マップ

（改訂版）の説明、小樽市登録制メールの紹介がありました。その後、意見交換会となり、防災士の育成の必要性などの意見が交わされました。

●国際スポーツ雪かき選手権

2月16日（日）に、「国際スポーツ雪かき選手権 in 小樽 2025」が同実行委員会主催で、豊川会館、松ヶ枝中学校、潮見台会館、入船六三町会会館、東小樽ふれあい桜会館の5会場周辺で同時開催されました。

雪かきができなくなった高齢者の代わりに、若者などの元気な住民が雪かきを行うもので、参加者は約110名で、24チームに分かれて行われ、各町会からは大変喜ばれました。

